

北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 令和3年4月9日

(2) 調査対象期間 令和3年1月～3月期実績および令和3年4月～6月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業		30社	25社	83.3%
建設業		30社	27社	90.0%
卸売業		30社	24社	80.0%
小売業		35社	25社	71.4%
サービス業		25社	19社	76.0%
合計		150社	120社	80.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

令和2年度第IV四半期<1月～3月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」23.3%、「悪化企業」45.0%、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△21.7となっています。

前年同期（△47.7）との比較では26.0ポイントの大幅な改善傾向を示しました。また、前期調査<令和2年度第III四半期>と比較してみると前期△32.5→今期△21.7と9.2ポイントの改善傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△56.0、建設業D・I値△3.7、卸売業D・I値△20.8、小売業D・I値0.0、サービス業D・I値△31.6となっており、前年同期調査と比較すると、サービス業で56.6ポイント、小売業で52.4ポイント、卸売業で31.4ポイント、建設業で5.0ポイントの改善傾向が見られ、製造業でのみ8.1ポイントの悪化となりましたが全体的には改善傾向となっています。

来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」17.6%、「悪化企業」49.6%でD・I値△32.0と、前年同期見通し（△57.0）に比べ25.0ポイントの大幅な改善見通しとなっています。未だD・I値はマイナスであり、厳しい状況が続く見通しではあるものの、コロナ禍の深刻なダメージから改善の兆しが伺える来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」20.0%、「減少企業」64.0%、D・I値△44.0と前年同期（△43.5）に比べ0.5ポイントのわずかな悪化となりました。

採 算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」52.0%、D・I値△32.0と前年同期（△30.5）に比べ1.5ポイントのわずかな悪化となりました。

来期見通し

業況D・I値△28.0、生産高D・I値△37.5、資金繰りD・I値△36.0と、前年同期に比べ、生産高のみD・I値で悪化傾向を示しました。

2) 建 設 業

完 成 工 事 高

前年比で「増加企業」29.6%、「減少企業」33.3%、D・I値△3.7と、前年同期（△4.3）に比べ0.6ポイントの改善となりました。

採 算

前年比で「好転企業」29.6%、「悪化企業」18.5%、D・I値11.1と、前年同期（△13.0）に比べ24.1ポイントの大幅な改善傾向とにあります。

来期見通し

業況D・I値△25.9、完成工事高D・I値△37.1、資金繰りD・I値3.7と前年同期に比べ、完成工事高のみD・I値で悪化傾向を示しました。

3) 卸売業

売上高 前年比で「増加企業」37.5%、「減少企業」50.0%、D・I値 Δ 12.5と前年同期(Δ 47.9)に比べ35.4ポイントと大幅な改善となりました。

採算 前年比で「好転企業」20.8%、「悪化企業」41.7%、D・I値 Δ 20.9と前年同期(Δ 52.2)に比べ31.3ポイント大幅な改善となりました。

来期見通し 業況D・I値 Δ 58.4、売上高D・I値 Δ 50.0、資金繰りD・I値 Δ 12.5と前年同期に比べ、すべてのD・I値で大幅な改善を示しました。

4) 小売業

売上高 前年比で「増加企業」32.0%「減少企業」32.0%、D・I値 Δ 0.0と前年同期(Δ 57.2)に比べ57.2ポイントの大幅な改善となりました。

採算 前年比で「好転企業」28.0%「悪化企業」32.0%、D・I値 Δ 4.0と前年同期(Δ 47.6)から43.6ポイントの大幅な改善となりました。

来期見通し 業況D・I値 Δ 24.0、売上高D・I値 Δ 24.0、資金繰りD・I値 Δ 8.0と前年同期に比べ、すべてのD・I値で大幅な改善傾向を示しました。

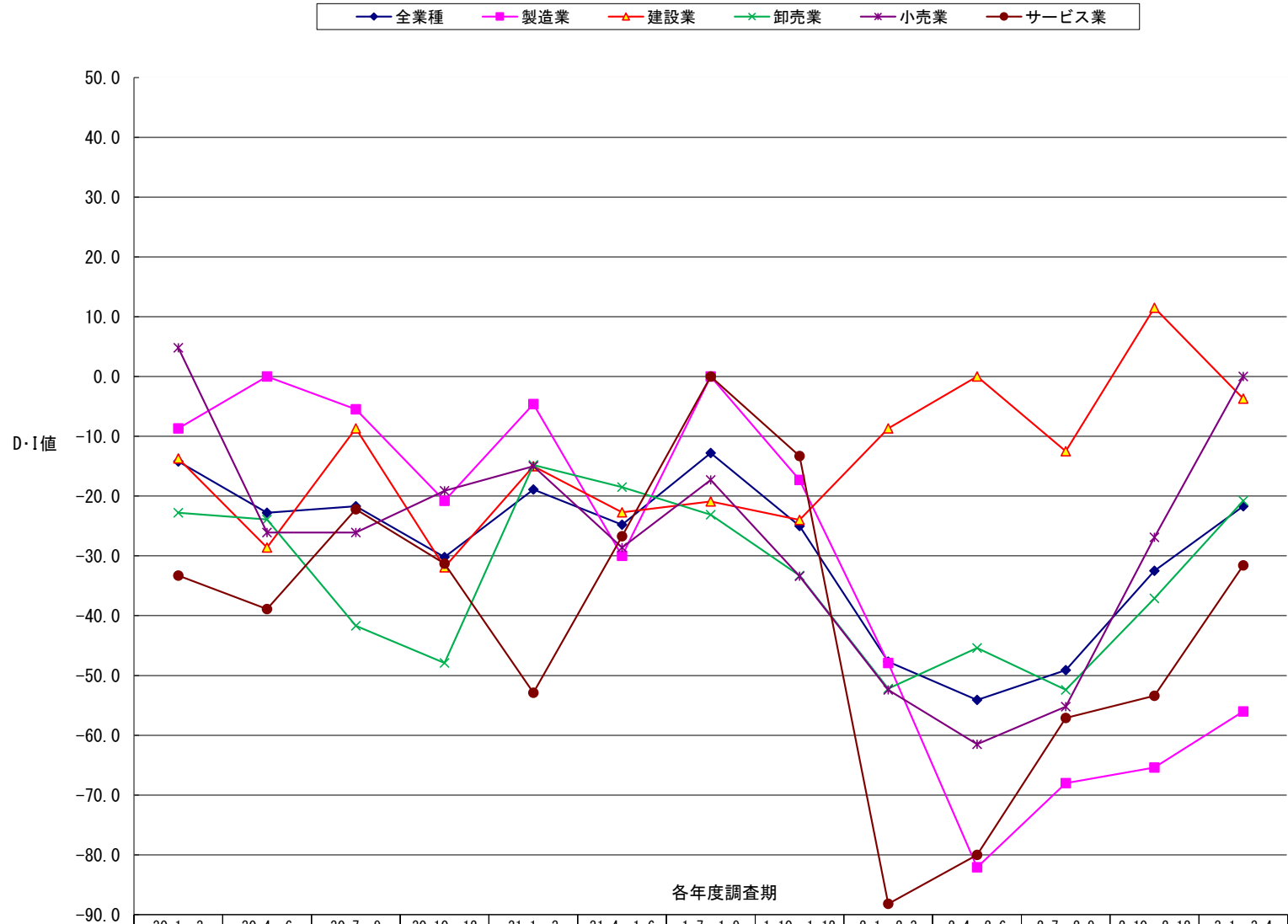
5) サービス業

売上高 前年比で「増加企業」15.8%、「減少企業」52.6%、D・I値 Δ 36.8と、前年同期(Δ 88.2)に比べ51.4ポイントの大幅な改善となりました。

採算 前年比で「好転企業」15.8%、「悪化企業」52.6%、D・I値 Δ 36.8と前年同期(Δ 88.2)に比べ、51.4ポイントの大幅な改善となりました。

来期見通し 業況D・I値 Δ 22.2、売上高D・I値 Δ 22.2、資金繰りD・I値 Δ 27.7と前年同期に比べ、前年同期に比べすべてのD・I値で大幅な改善を示しました。

各年度調査期における業況（前年同期比）のD・I値の比較



	30. 1~3 平成29年度 IV	30. 4~6 平成30年度 I	30. 7~9 平成30年度 II	30. 10~12 平成30年度 III	31. 1~3 平成30年度 IV	31. 4~1. 6 令和元年度 I	1. 7~1. 9 令和元年度 II	1. 10~1. 12 令和元年度 III	2. 1~2. 3 令和元年度 IV	2. 4~2. 6 令和2年度 I	2. 7~2. 9 令和2年度 II	2. 10~2. 12 令和2年度 III	3. 1~3. 4 令和2年度 IV
◆ 全業種	-14.2	-22.8	-21.7	-30.2	-18.9	-24.8	-12.8	-25.0	-47.7	-54.1	-49.1	-32.5	-21.7
■ 製造業	-8.7	0.0	-5.5	-20.8	-4.6	-30.0	0.0	-17.3	-47.9	-82.1	-68.0	-65.4	-56.0
▲ 建設業	-13.7	-28.6	-8.7	-31.9	-15.0	-22.7	-20.9	-24.0	-8.7	0.0	-12.5	11.5	-3.7
× 卸売業	-22.8	-23.9	-41.7	-47.9	-14.8	-18.5	-23.1	-33.3	-52.2	-45.4	-52.4	-37.1	-20.8
✱ 小売業	4.8	-26.1	-26.1	-19.1	-15.0	-28.6	-17.3	-33.4	-52.4	-61.5	-55.2	-26.9	0
● サービス業	-33.3	-38.9	-22.2	-31.3	-52.9	-26.7	0.0	-13.3	-88.2	-80.0	-57.1	-53.4	-31.6

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得意先減少	諸経費増	人件費増	人材不足	資金調達困難
建 設 業	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合
卸 売 業	得意先減少	同業者間の競合	諸経費増	人材不足	人件費増
小 売 業	得意先減少	人材不足	同業者間の競合	諸経費増	人件費増
サービス業	諸経費増	得意先減少	人材不足	同業者間の競合	人件費増
合 計	得意先減少	諸経費増	人材不足	人件費増	同業者間の競合

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○全業種でみると、3位までの順位に変動があり、「得意先減少」及び「諸経費増」が順位を上げました。また、業種別でみると3期連続全ての業種の1位には変動がなく、新型コロナウイルス感染症による影響は長期化しています。全業種で得意先減少が上位となっていることに加え、卸売業、小売業、サービス業で「同業者間の競合」が順位を上げており、問題が深刻化しています。新型コロナウイルス感染症に伴う売上減少が企業の廃業や事業撤退等直接的に影響を与えていることに加え、取引先など間接的にも影響が広がっていることが伺えます。

※その他及び具体的な業界の問題点と新型コロナウイルスによる影響についての記載事項

(製造) ○求人を出しても人が見つからない。

○他地域の同業者が北見に進出しているようで、今後顧客のフォローが必要。

○昨年比1・2月は売上激減、3月後半からサービス部門の客足が伸びつつある。

(卸売) ○加工部門の量が減少。

○イベントの自粛による影響あり。イベントの開催が待たれる。

○景気低迷の影響が今後予想される。

○展示会が中止となり、情報が不足気味。

(小売) ○外出制限のため、客足が減少。

(サービス業)

○客足減少。

○北見市全体の情報統制不足。

○コロナ禍にて飲食業への影響が大きい。

業況

- 製造業 ⇒ 好転（製麺、農業機械金属）
悪化（木製品、印刷、菓子、農産物加工、ビール製造、一般製材、帆布製品、
建具、看板、建設用金属製品、石材加工、鋳物製品）
- 建設業 ⇒ 好転（一般住宅建築、設計、給排水、冷暖房）
悪化（電気工事、舗装、内線工事、とび土工）
- 卸売業 ⇒ 好転（事務機器、介護用品・リース、業務用食品、家電、医療、種苗、肥料、
農薬農業資材）
悪化（石油製品、建築資材、鉄鋼、米穀、製菓原材料、酒類、家具、玩具）
- 小売業 ⇒ 好転（菓子、眼鏡、自動車、家電、家具、ゴルフ用品、コンビニエンスストア）
悪化（衣料品、食肉、酒、紳士婦人服、火薬、機械工具、米穀、生鮮食品）
- サービス業 ⇒ 好転（ビルメンテナンス、自動車賃貸）
悪化（ホテル、飲食、クリーニング、理容、建物清掃）

（※太字アンダーライン表示は重複該当業種）